

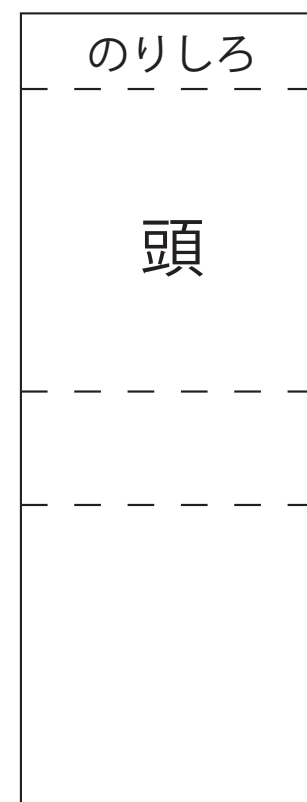
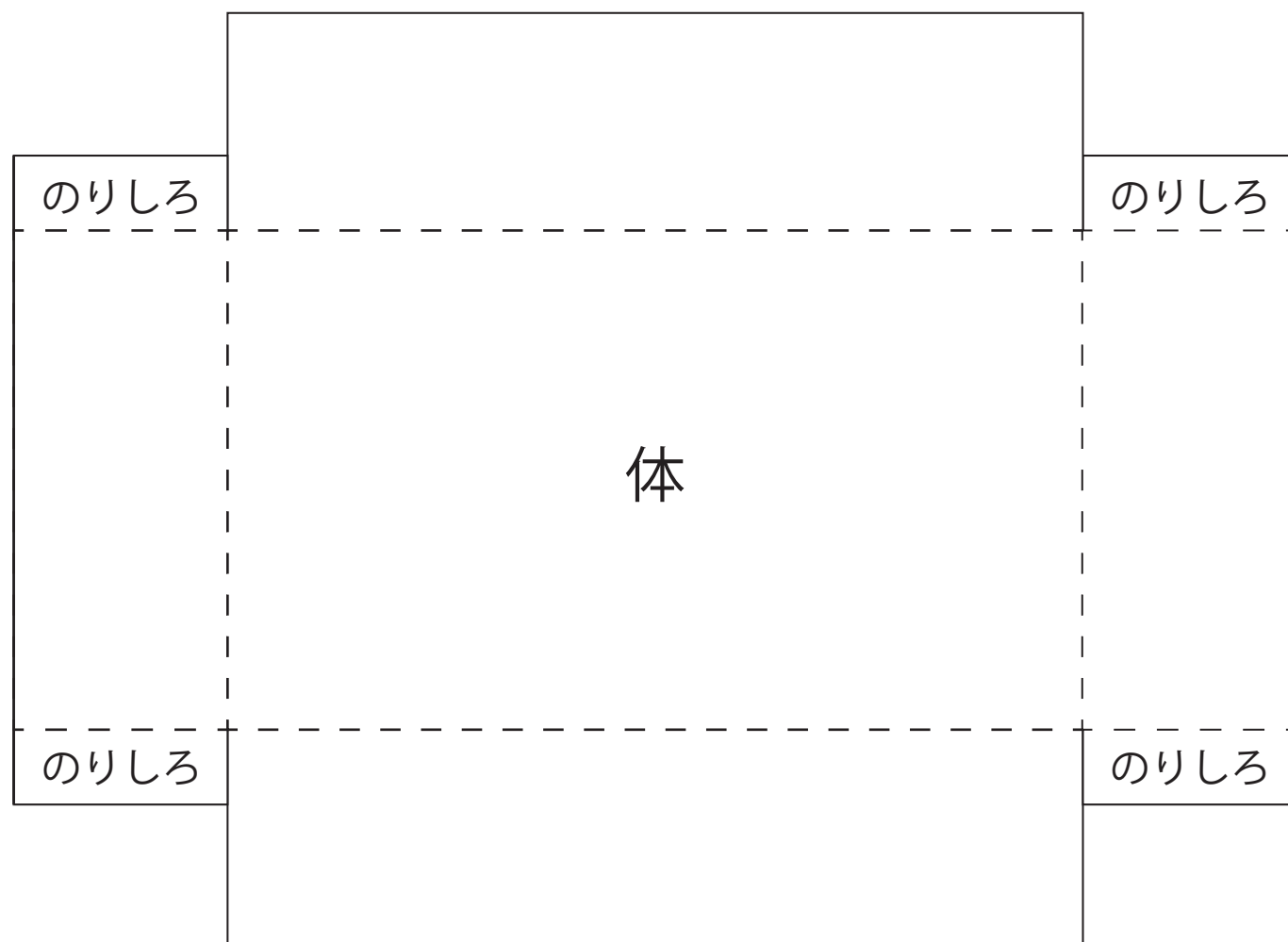


ずぼんぼ かた紙

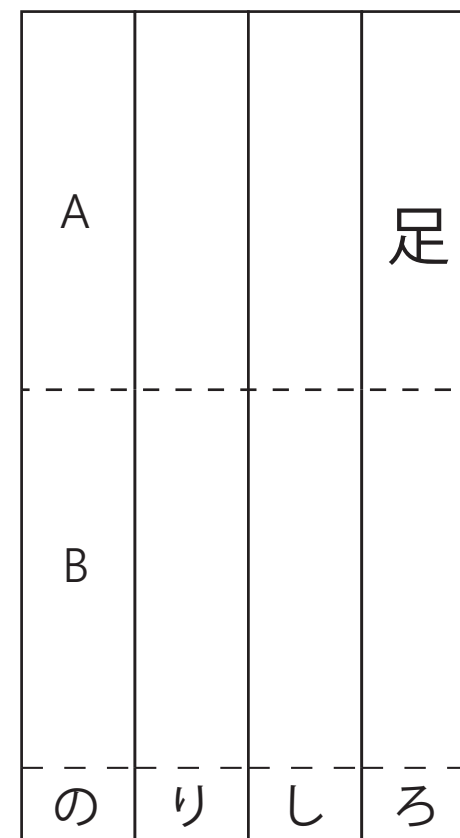
----- おり線

「ずぼんぼ」は、江戸時代から楽しまれているおもちゃです。
紙でつくった体に、頭、しっぽ、足、さらに足先にシジミ貝などを
重いにつけます。

びょうぶの前や部屋の角などに置いて、うちわであおいで、
ふわふわとうき上がらせ、おどっているような姿を楽しみましょう。



足は1本分ずつ切りはなしたら
点線部分において、AとBの部分を
のりではって2枚重ねにする。
のりしろ部分にシジミ貝やおはじきをつける。



耳やしっぽは
おこのみで



「ずぼんぼ」の体は、風でうきあがりやすいように、軽い紙（和紙など）を使うとよい。
足を切り出す時は、紙のタテ目にそって長さ方向を取ると、しっかりとした足になる。



公益財団法人 紙の博物館